

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年5月10日

事業所名 放課後等デイサービスくるみ

| | | チェック項目 | はい | いいえ | どちらでもない | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|--|------|-----|---------|-------------|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 100% | | | | 今後もメリハリのある療育を行えるようにしている。今後も空間の有効利用を考えていきます |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 50% | 50% | | | 利用者や保護者に満足いただける療育を目指し、適切な配置につとめます |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | | | 100% | | トイレ内で介助しにくいので対策を検討していきます |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 100% | | | | 今後も情報共有を心掛けていきます |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 100% | | | | 継続して行っています |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 50% | | 50% | | スタッフに周知、伝達していきます |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 50% | | 50% | | 客観的に評価できる人材を検討し、評価を頂き、業務改善に努めます |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 100% | | | | 継続して行っています |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | | | | 今後も喜ばれる放デイを目指し計画の作成をこころがけます |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 50% | | 50% | | 子どもの評価、課題を適切に判断するように、確実に使用していきます |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 100% | | | | 今後もチームで取り組みます |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 100% | | | | 今後も継続を心がけます |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 100% | | | | 個人課題、集団課題、学習課題など設定しています |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | | | | 情報共有を行った後、作成しています。作成後、みんなで再確認を心がけています |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 100% | | | | 今後も職員の意識、積極性を高めていきます |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 100% | | | | 今後も職員の意識、積極性を高めていきます |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 100% | | | | 次回に向けての反省点などの記載を心がけます |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 100% | | | | 今後も継続を心がけます | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | | | | 今後も継続を心がけます | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|------|--|-----|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 100% | | | 児発管だけでなく指導員の参加も検討していきます |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 100% | | | 今後も継続を心がけます |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 50% | | 50% | 現在該当はなし |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 100% | | | 子どもの状況に応じて過去の情報共有への意識も高めていきます |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 100% | | | 現在は該当なし。該当出れば行います |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 100% | | | 連携している面をスタッフにも周知し、伝達していきます |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 50% | | 50% | コロナ禍で難しくなっていますが、工夫して行えることを検討していきます |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 50% | | 50% | 業務や時間調整を行い、積極的に参加していきます |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 100% | | | 今後も同様の継続を心がけます |
| 保護者への説明責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 50% | | 50% | 障害特性等の理解に関する支援学習等も取り組んでいこうに検討します |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 100% | | | 今後も同様の継続を心がけます |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 100% | | | 今後も同様の継続を心がけます |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 50% | | 50% | 行事等の参加を通じて、保護者同士のつながりがもてるように働きかけていきます |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 50% | | 50% | 迅速な対応が行えるよう、スタッフ間の連携、情報共有のマニュアル化を行っていきます |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 50% | | 50% | 今後も同様の継続を心がけます |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 100% | | | 今後も同様の継続を心がけます |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 100% | | | 今後も同様の継続を心がけます |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 50% | | 50% | コロナ禍を配慮しながら地域交流の検討を行っていきます |

| | | | | | | |
|---------|----|--|------|--|-----|-------------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 100% | | | 今後も継続していきます |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 100% | | | 引き続き避難訓練の実施を計画し行っていきます |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 100% | | | 今後も継続していきます |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 100% | | | 今後も同様の継続を心がけます |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 50% | | 50% | 保護者の指示に基づき行っています |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 100% | | | 今後もヒヤリハットに対する意識、危険予防を心がけていきます |